

令和2年度 事務事業評価シート（市民サービス系）

No. 21

1 事務事業の内容 (PLAN)		<input checked="" type="checkbox"/> 投資 <input type="checkbox"/> 臨時 <input type="checkbox"/> 経常	
事務事業名称	労働施設整備事業	担当部署	産業振興部商工課
総合計画上の位置付け	にぎわい-活力ある産業を形成する-就労環境を充実する-就労環境の改善		
対象	(公社)赤穂市シルバー人材センター外		
手段(方法)	各種労働団体やシルバー人材センターの拠点となる施設の改修を実施し、運営環境を整備する		
手法(該当番号を記入)	1	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営 <input type="checkbox"/> 2 一部委託 <input type="checkbox"/> 3 全部委託 <input type="checkbox"/> 4 補助金 <input type="checkbox"/> 5 負担金	
意図(ねらい)	事務所として使用できるよう整備することにより、高齢者の就業機会の確保や勤労者の福祉向上を図る。		
実施の必要性(該当番号を記入)	1	<input checked="" type="checkbox"/> 1 自治事務(任意的事業) <input type="checkbox"/> 2 自治事務(義務的事業) <input type="checkbox"/> 3 法定受託事務	
根拠法令・条例等	赤穂市補助金等交付規則		
その他実施の根拠			
始期・終期	28	年度 ~	年度
到達目標(根拠数式・数値又は文章)	シルバー人材センター外の事務所等に使用する当該施設を改修等により適正に維持管理する。		
単年度目標(達成状況)	30年度実績	改修工事の実施	達成状況 100 %
	元年度実績	改修工事の実施	達成状況 100 %
	2年度計画	改修工事の実施	達成状況 - %
	2年度実績	改修工事の実施	達成状況 100 %
	3年度計画	改修工事の実施	達成状況 - %

2 事務事業の実施状況 (DO)						
細事業又は実施内容	目標値(年度)	30年度実績	元年度実績	2年度計画	2年度実績	3年度計画
施設改修工事			4	1	1	1
直接事業費	単位:円	30年度決算	元年度決算	2年度予算	2年度決算	3年度予算
事業費			4,180,342	1,000,000	737,000	1,300,000
財源内訳	国県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源		4,180,342	1,000,000	737,000	1,300,000
直接事業費総額		0	4,180,342	1,000,000	737,000	1,300,000
人件費:人日数	一般職員:人日数		12	12	12	12
	技能職員:人日数					
	臨時職員:人日数					
人件費総額		0	228,000	224,400	224,400	224,400
総事業費計		0	4,408,342	1,224,400	961,400	1,524,400
主な増減理由	元年度決算と2年度決算の比較	工事数の減による				
	2年度予算と3年度予算の比較	工事内容による				

3 事務事業に関する自己診断(CHECK)	
事務事業遂行上の課題	施設が老朽化しており、今後も必要に応じて整備を行っていく必要がある。
市民のニーズ・満足度	
連携事業	
関連事業	
対象の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 受益者は妥当である <input type="checkbox"/> 2 受益者の範囲に検討余地あり
市の関与の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="2"/> 理由等所見欄
	<input type="checkbox"/> 1 市が直接実施するように法律、法令等で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 2 法律、法令等では義務づけられていない ⇒⇒ 下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> <input checked="" type="checkbox"/> 1 公共性が高く、行政以外ではサービスの提供が困難な事業 <input type="checkbox"/> 2 市民、他の自治体等でも条件整備によってサービスの提供が可能であるが、市が実施している事業 <input type="checkbox"/> 3 公共性が高いが、行政以外の団体等でサービス提供している事業 <input type="checkbox"/> 4 個人、家庭、地域、他の公共団体等で実施すべき事業、あるいはサービス提供が可能な事業 <input type="checkbox"/> 5 現在、市が実施しているが関与の必要性が低い事業、あるいは民間等でサービス提供している事業
手段の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 法的に行政職員が行うべき事業、又は行政の専門知識・技術が必要な事業 <input type="checkbox"/> 2 他に有効な手段を考へうる事業 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 下の該当番号を記入 <input type="text"/> <input type="checkbox"/> 1 定型的、一般的、一時的な作業について、再任用、臨時職員等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 2 個人、家庭、地域、他の公共団体等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 3 民間委託等で対応しうる可能性がある
事業費の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他()
執行体制の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業に関する事業改善、作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 2 事業の進行管理について、確認やチェックを定期的に行っている <input type="checkbox"/> 3 現在の定数を減らした場合、大きな影響がある <input type="checkbox"/> 4 再任用、臨時職員で補完できる <input type="checkbox"/> 5 専門的な知識や技能を要する事業について、適切な研修を受ける時間が確保できている
有効性	目標達成度 <input type="text" value="100"/> % 理由等所見欄
	上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度: 下の該当番号を記入 <input type="text" value="3"/> <input type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input checked="" type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
4 事務事業の見直し提案 一次(担当者)評価(CHECK・ACTION)	
事務事業実施による成果と課題	施設の老朽化に伴い、計画的に改修・修繕を行っていく必要がある。
次年度予算への見直し方針	特になし
関連部課等との協議状況	
関連部課	
今後の方向性	右の該当を選択 <input type="text" value="2"/> 継続(現状維持) ▼ 今後も経年劣化による施設を整備することにより、適切な維持管理を行っていく。
5 二次評価 課長の評価(CHECK・ACTION)	
上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度	下の該当番号を記入 <input type="text" value="2"/> <input type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input checked="" type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
	右の該当を選択 <input type="text" value="5"/> 継続(統合) ▼
今後の方向性	3年度の取り組み方針 適正な施設管理に努める。
	4年度以降の展開方針 施設の老朽化に伴い、計画的に改修・修繕を行う。
部長の確認所見	施設点検は継続し、改修工事が必要な場合は対応すること。

令和2年度 事務事業評価シート（市民サービス系）

No. 92

1 事務事業の内容 (PLAN)		<input type="checkbox"/> 投資 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時 <input type="checkbox"/> 経常				
事務事業名称	ふるさとづくり寄付金推進事業		担当部署	産業振興部 商工課		
総合計画上の位置付け	連携-健全で効率的な行政運営を行う-健全で効率的な行政運営を行う-組織や人事管理の適正化					▼
対象	個人					
手段(方法)	赤穂市に1万円以上寄付していただいた個人の方に、赤穂市の特産品等を贈呈する。					
手法(該当番号を記入)	1	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営	<input type="checkbox"/> 2 一部委託	<input type="checkbox"/> 3 全部委託	<input type="checkbox"/> 4 補助金	<input type="checkbox"/> 5 負担金
意図(ねらい)	寄付金により自主財源の確保を図るとともに、地場産品を返礼品とすることで赤穂市の魅力発信、地元産業の活性化を図る。					
実施の必要性(該当番号を記入)	1	<input checked="" type="checkbox"/> 1 自治事務(任意的事業)	<input type="checkbox"/> 2 自治事務(義務的事業)	<input type="checkbox"/> 3 法定受託事務		
根拠法令・条例等	赤穂ふるさとづくり寄付条例、赤穂ふるさとづくり寄付条例施行規則、赤穂市ふるさとづくり寄付金推進事業実施要綱					
その他実施の根拠						
始期・終期	27	年度	～	年度		
到達目標(根拠数式・数値又は文章)	寄付件数					
単年度目標(達成状況)	30年度実績	ふるさと寄付金 1,526件 クラウドファンディング分 17件			達成状況	89.7 %
	元年度実績	4,244件			達成状況	279.2 %
	2年度計画	4,000件			達成状況	- %
	2年度実績	15,915件			達成状況	397.8 %
	3年度計画	18,800件			達成状況	- %

2 事務事業の実施状況 (DO)						
細事業又は実施内容	目標値(年度)	30年度実績	元年度実績	2年度計画	2年度実績	3年度計画
寄付件数		1,526	4,244	4,000	15,915	18,800
寄付件数(クラウドファンディング分)		17	-	-	-	-
特産品贈呈件数		1,701	4,563	4,000	16,500	18,800
直接事業費	単位:円	30年度決算	元年度決算	2年度予算	2年度決算	3年度予算
報償費		11,946	41,793	200,000	0	160,000
委託料		12,336,182	30,462,128	28,540,000	99,635,530	120,937,000
事務費		1,202,596	4,250,249	6,260,000	19,265,986	28,903,000
財源内訳	国県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	13,550,724	34,754,170	35,000,000	118,901,516	150,000,000
直接事業費 総額		13,550,724	34,754,170	35,000,000	118,901,516	150,000,000
人件費:人日数	一般職員:人日数	35	36	36	40	40
	技能職員:人日数					
	臨時職員:人日数	50	50	50	100	100
人件費 総額		1,005,000	1,029,000	1,083,200	1,568,000	1,568,000
総事業費 計		14,555,724	35,783,170	36,083,200	120,469,516	151,568,000
主な増減理由	元年度決算と2年度決算の比較	寄付件数の大幅な増による				
	2年度予算と3年度予算の比較	寄付件数の増を見込む				

3 事務事業に関する自己診断(CHECK)	
事務事業遂行上の課題	返礼品の拡充を図るとともに、ポータルサイトの内容を充実させ、効果的なPRを図る。
市民のニーズ・満足度	返礼品の取扱件数増加により地元事業者への経済効果は高い
連携事業	
関連事業	
対象の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 受益者は妥当である <input type="checkbox"/> 2 受益者の範囲に検討余地あり
市の関与の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="2"/> 理由等所見欄
	<input type="checkbox"/> 1 市が直接実施するように法律、法令等で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 2 法律、法令等では義務づけられていない ⇒⇒ 下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> <input checked="" type="checkbox"/> 1 公共性が高く、行政以外ではサービスの提供が困難な事業 <input type="checkbox"/> 2 市民、他の自治体等でも条件整備によってサービスの提供が可能であるが、市が実施している事業 <input type="checkbox"/> 3 公共性が高いが、行政以外の団体等でサービス提供している事業 <input type="checkbox"/> 4 個人、家庭、地域、他の公共団体等で実施すべき事業、あるいはサービス提供が可能な事業 <input type="checkbox"/> 5 現在、市が実施しているが関与の必要性が低い事業、あるいは民間等でサービス提供している事業
手段の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="2"/> 理由等所見欄
	<input type="checkbox"/> 1 法的に行政職員が行うべき事業、又は行政の専門知識・技術が必要な事業 <input checked="" type="checkbox"/> 2 他に有効な手段を考へうる事業 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 下の該当番号を記入 <input type="text" value="3"/> <input type="checkbox"/> 1 定型的、一般的、一時的な作業について、再任用、臨時職員等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 2 個人、家庭、地域、他の公共団体等で対応しうる可能性がある <input checked="" type="checkbox"/> 3 民間委託等で対応しうる可能性がある
事業費の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 <input type="text" value="2"/> 理由等所見欄
	<input type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input checked="" type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他()
執行体制の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 <input type="text" value="1"/> <input type="text" value="2"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業に関する事業改善、作業効率の向上に努めている <input checked="" type="checkbox"/> 2 事業の進行管理について、確認やチェックを定期的に行っている <input type="checkbox"/> 3 現在の定数を減らした場合、大きな影響がある <input type="checkbox"/> 4 再任用、臨時職員で補完できる <input type="checkbox"/> 5 専門的な知識や技能を要する事業について、適切な研修を受ける時間が確保できている
有効性	目標達成度 <input type="text" value="279"/> % 理由等所見欄
	上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度: 下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
4 事務事業の見直し提案 一次(担当者)評価(CHECK・ACTION)	
事務事業実施による成果と課題	寄付金収入により自主財源の確保に貢献した。 今後、更なる返礼品の充実を図り、寄付金額の増額と地場特産品等赤穂市の魅力発信を図る。
次年度予算への見直し方針	引き続き総務省基準を遵守した予算編成とする。
関連部課等との協議状況	
関連部課	
今後の方向性	右の該当を選択 <input type="text" value="1"/> 継続(拡充) ▼
	自主財源確保と赤穂市の魅力発信のため、寄付ポータルサイトの増設や返礼品の充実を図り、一層の事業拡充を図りたい。
5 二次評価 課長の評価(CHECK・ACTION)	
上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
	右の該当を選択 <input type="text" value="1"/> 継続(拡充) ▼
今後の方向性	3年度の取り組み方針 返礼品の拡充や効果的な魅力発信に努め、更なる歳入確保を図る。
	4年度以降の展開方針 返礼品の拡充や効果的な魅力発信に努め、更なる歳入確保を図る。
部長の確認所見	事務執行体制の充実を図り、返礼品の拡充と効果的なPRに努め、更なる寄付額の増額を目指す。

令和2年度 事務事業評価シート（市民サービス系）

No. 188

1 事務事業の内容 (PLAN)		<input type="checkbox"/> 投資 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時 <input type="checkbox"/> 経常				
事務事業名称	高齢者就業機会確保事業	担当部署	産業振興部 商工課			
総合計画上の位置付け	にぎわい-活力ある産業を形成する-就労環境を充実する-就業機会の拡大と確保					▼
対象	(公社)赤穂市シルバー人材センター					
手段(方法)	運営費補助金を交付する(国庫補助金随伴)					
手法(該当番号を記入)	4	<input type="checkbox"/> 1 直営	<input type="checkbox"/> 2 一部委託	<input type="checkbox"/> 3 全部委託	<input checked="" type="checkbox"/> 4 補助金	<input type="checkbox"/> 5 負担金
意図(ねらい)	高齢者の就業機会の確保や生きがいの創出を図る。					
実施の必要性(該当番号を記入)	1	<input checked="" type="checkbox"/> 1 自治事務(任意的事業)		<input type="checkbox"/> 2 自治事務(義務的事业)	<input type="checkbox"/> 3 法定受託事務	
根拠法令・条例等	赤穂市補助金等交付規則、高齢者の雇用の安定等に等に関する法律					
その他実施の根拠						
始期・終期	62	年度	~	年度		
到達目標(根拠数式・数値又は文章)	補助金交付事務を適切に執行する					
単年度目標(達成状況)	30年度実績	補助金交付事務を適切に執行した			達成状況	100 %
	元年度実績	補助金交付事務を適切に執行した			達成状況	100 %
	2年度計画	補助金交付事務を適切に執行する			達成状況	- %
	2年度実績	補助金交付事務を適切に執行する			達成状況	100 %
	3年度計画	補助金交付事務を適切に執行する			達成状況	- %

2 事務事業の実施状況 (DO)						
細事業又は実施内容	目標値(年度)	30年度実績	元年度実績	2年度計画	2年度実績	3年度計画
会員数		585	593	590	550	550
民間契約実績(件数)		1,945	1,797	1,900	1,376	1,400
民間契約実績(金額)		181,385,469	181,250,057	181,000,000	161,972,211	161,000,000
公共契約実績(件数)		116	114	110	111	110
公共契約実績(金額)		110,394,869	115,618,014	110,000,000	119,718,940	119,000,000
直接事業費 単位:円		30年度決算	元年度決算	2年度予算	2年度決算	3年度予算
補助金額		12,861,000	13,659,000	14,459,000	14,459,000	15,449,000
施設修繕		299,660	188,460	261,000	75,900	241,000
財源内訳						
	国庫支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	13,160,660	13,847,460	14,720,000	14,534,900	15,690,000
直接事業費 総額		13,160,660	13,847,460	14,720,000	14,534,900	15,690,000
人件費:人日数	一般職員:人日数	12	12	12	12	12
	技能職員:人日数					
	臨時職員:人日数					
人件費 総額		228,000	228,000	224,400	224,400	224,400
総事業費 計		13,388,660	14,075,460	14,944,400	14,759,300	15,914,400
主な増減理由	元年度決算と2年度決算の比較	国庫補助金額(事業費格付け)による増額				
	2年度予算と3年度予算の比較	国庫補助金額(事業費格付け)による増額				

3 事務事業に関する自己診断(CHECK)	
事務事業遂行上の課題	雇用・就業機会の拡大を図るとともに、自主財源による運営を目指していく必要がある。
市民のニーズ・満足度	
連携事業	
関連事業	
対象の妥当性	下の該当番号を記入 1 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 受益者は妥当である <input type="checkbox"/> 2 受益者の範囲に検討余地あり
	下の該当番号を記入 2 理由等所見欄 <input type="checkbox"/> 1 市が直接実施するように法律、法令等で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 2 法律、法令等では義務づけられていない ⇒⇒ 下の該当番号を記入 1 <input checked="" type="checkbox"/> 1 公共性が高く、行政以外ではサービスの提供が困難な事業 <input type="checkbox"/> 2 市民、他の自治体等でも条件整備によってサービスの提供が可能であるが、市が実施している事業 <input type="checkbox"/> 3 公共性が高いが、行政以外の団体等でサービス提供している事業 <input type="checkbox"/> 4 個人、家庭、地域、他の公共団体等で実施すべき事業、あるいはサービス提供が可能な事業 <input type="checkbox"/> 5 現在、市が実施しているが関与の必要性が低い事業、あるいは民間等でサービス提供している事業
市の関与の妥当性	下の該当番号を記入 1 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 法的に行政職員が行うべき事業、又は行政の専門知識・技術が必要な事業 <input type="checkbox"/> 2 他に有効な手段を考へうる事業 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 下の該当番号を記入 <input type="checkbox"/> 1 定型的、一般的、一時的な作業について、再任用、臨時職員等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 2 個人、家庭、地域、他の公共団体等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 3 民間委託等で対応しうる可能性がある
	下の該当番号を記入 ※複数可 1 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他()
事業費の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 1 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 事業に関する事業改善、作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 2 事業の進行管理について、確認やチェックを定期的に行っている <input type="checkbox"/> 3 現在の定数を減らした場合、大きな影響がある <input type="checkbox"/> 4 再任用、臨時職員で補完できる <input type="checkbox"/> 5 専門的な知識や技能を要する事業について、適切な研修を受ける時間が確保できている
	下の該当番号を記入 ※複数可 1 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input checked="" type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
執行体制の効率性	目標達成度 100 % 理由等所見欄 上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度: 下の該当番号を記入 2 <input type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input checked="" type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
	下の該当番号を記入 ※複数可 1 理由等所見欄 <input type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input checked="" type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
有効性	下の該当番号を記入 ※複数可 1 理由等所見欄 <input type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input checked="" type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
	下の該当番号を記入 ※複数可 1 理由等所見欄 <input type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input checked="" type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
4 事務事業の見直し提案 一次(担当者)評価(CHECK・ACTION)	
事務事業実施による成果と課題	会員数、契約件数が減少傾向にある。
次年度予算への見直し方針	国庫補助金に随伴して決定する。
関連部課等との協議状況	
関連部課	
今後の方向性	右の該当を選択 2継続(現状維持) ▼ 定年延長などにより、シルバー人材センターを取り巻く高齢者雇用環境は厳しい状況であるが、高齢者労働力の活用は公益上必要なため、引き続き支援を行う。
5 二次評価 課長の評価(CHECK・ACTION)	
上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度	下の該当番号を記入 2 <input type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input checked="" type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
	右の該当を選択 2継続(現状維持) ▼
今後の方向性	3年度の取り組み方針 会員の増加に向けた取組を支援するとともに、適切な運営が図れるよう引き続き支援する
	4年度以降の展開方針 会員の増加に向けた取組を支援するとともに、適切な運営が図れるよう引き続き支援する
部長の確認所見	会員が減少傾向にあるため、増加に向けた取組を支援していくとともに、センターの自立に向けた支援も行うこと。

令和2年度 事務事業評価シート（市民サービス系）

No. 189

1 事務事業の内容 (PLAN)		<input type="checkbox"/> 投資 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時 <input type="checkbox"/> 経常				
事務事業名称	労働対策事業補助		担当部署	産業振興部 商工課		
総合計画上の位置付け	にぎわい-活力ある産業を形成する-就労環境を充実する-勤労者福祉の向上					▼
対象	連合西播地域協議会赤穂地区労働団体連絡会、赤穂労働者協議会					
手段(方法)	年間活動費に対し補助金を交付する					
手法(該当番号を記入)	4	<input type="checkbox"/> 1 直営	<input type="checkbox"/> 2 一部委託	<input type="checkbox"/> 3 全部委託	<input checked="" type="checkbox"/> 4 補助金	<input type="checkbox"/> 5 負担金
意図(ねらい)	労働団体に対し補助金を交付する					
実施の必要性(該当番号を記入)	1	<input checked="" type="checkbox"/> 1 自治事務(任意的事業)	<input type="checkbox"/> 2 自治事務(義務的事業)	<input type="checkbox"/> 3 法定受託事務		
根拠法令・条例等	赤穂市補助金等交付規則					
その他実施の根拠						
始期・終期	57	年度	~	年度		
到達目標(根拠数式・数値又は文章)	補助金交付事務を適切に執行した					
単年度目標(達成状況)	30年度実績	補助金交付事務を適切に執行した			達成状況	100 %
	元年度実績	補助金交付事務を適切に執行した			達成状況	100 %
	2年度計画	補助金交付事務を適切に執行する			達成状況	- %
	2年度実績	補助金交付事務を適切に執行する			達成状況	100 %
	3年度計画	補助金交付事務を適切に執行する			達成状況	- %

2 事務事業の実施状況 (DO)						
細事業又は実施内容	目標値(年度)	30年度実績	元年度実績	2年度計画	2年度実績	3年度計画
補助金交付事務		1	1	1	1	1
直接事業費	単位:円	30年度決算	元年度決算	2年度予算	2年度決算	3年度予算
連合赤穂補助金		0	0	0	0	0
赤穂労協補助金		379,662	337,183	360,000	305,303	360,000
財源内訳	国県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	379,662	337,183	360,000	305,303	360,000
直接事業費総額		379,662	337,183	360,000	305,303	360,000
人件費:人日数	一般職員:人日数	6	6	6	6	6
	技能職員:人日数					
	臨時職員:人日数					
人件費総額		114,000	114,000	112,200	112,200	112,200
総事業費計		493,662	451,183	472,200	417,503	472,200
主な増減理由	元年度決算と2年度決算の比較	精算による補助金の減				
	2年度予算と3年度予算の比較	増減なし				

3 事務事業に関する自己診断(CHECK)

事務事業遂行上の課題	労働団体等の活動自体が低迷している中、効果的な活動に対して補助をおこなっていく必要がある		
市民のニーズ・満足度			
連携事業			
関連事業			
対象の妥当性	下の該当番号を記入	1	理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 受益者は妥当である <input type="checkbox"/> 2 受益者の範囲に検討余地あり		
市の関与の妥当性	下の該当番号を記入	2	理由等所見欄
	<input type="checkbox"/> 1 市が直接実施するように法律、法令等で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 2 法律、法令等では義務づけられていない ⇒⇒ 下の該当番号を記入 1 <input checked="" type="checkbox"/> 1 公共性が高く、行政以外ではサービスの提供が困難な事業 <input type="checkbox"/> 2 市民、他の自治体等でも条件整備によってサービスの提供が可能であるが、市が実施している事業 <input type="checkbox"/> 3 公共性が高いが、行政以外の団体等でサービス提供している事業 <input type="checkbox"/> 4 個人、家庭、地域、他の公共団体等で実施すべき事業、あるいはサービス提供が可能な事業 <input type="checkbox"/> 5 現在、市が実施しているが関与の必要性が低い事業、あるいは民間等でサービス提供している事業		
手段の妥当性	下の該当番号を記入	1	理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 法的に行政職員が行うべき事業、又は行政の専門知識・技術が必要な事業 <input type="checkbox"/> 2 他に有効な手段を考へうる事業 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 下の該当番号を記入 <input type="checkbox"/> 1 定型的、一般的、一時的な作業について、再任用、臨時職員等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 2 個人、家庭、地域、他の公共団体等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 3 民間委託等で対応しうる可能性がある		
事業費の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可	1	理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他()		
執行体制の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可	1	理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業に関する事業改善、作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 2 事業の進行管理について、確認やチェックを定期的に行っている <input type="checkbox"/> 3 現在の定数を減らした場合、大きな影響がある <input type="checkbox"/> 4 再任用、臨時職員で補完できる <input type="checkbox"/> 5 専門的な知識や技能を要する事業について、適切な研修を受ける時間が確保できている		
有効性	目標達成度	100 %	理由等所見欄
	上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度: 下の該当番号を記入 2 <input type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input checked="" type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()		

4 事務事業の見直し提案 一次(担当者)評価(CHECK・ACTION)

事務事業実施による成果と課題	補助金交付による、労働者の生活安定・福祉向上		
次年度予算への見直し方針	特になし		
関連部課等との協議状況			
関連部課			
今後の方向性	右の該当を選択	2継続(現状維持)	▼
	労働団体の財源が厳しくなっており、労働者の生活安定・福祉向上のために総括して補助を行う必要がある		

5 二次評価 課長の評価(CHECK・ACTION)

上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度	下の該当番号を記入	2	
	<input type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input checked="" type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()		
今後の方向性	右の該当を選択	2継続(現状維持)	▼
	3年度の取り組み方針	引き続き各団体の活動事業を支援するとともに、適切な補助に努める	
	4年度以降の展開方針	引き続き各団体の活動事業を支援するとともに、適切な補助に努める	

部長の確認所見	労働団体の財源が厳しくなり活動の低迷が懸念されるので、団体の財源状況に応じて見直すこと
---------	---

令和2年度 事務事業評価シート（市民サービス系）

No. 204

1 事務事業の内容 (PLAN)		<input type="checkbox"/> 投資 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時 <input type="checkbox"/> 経常	
事務事業名称	商業振興事業	担当部署	産業振興部 商工課
総合計画上の位置付け	にぎわい-活力ある産業を形成する-商業の振興を図る-経営基盤の安定化 ▼		
対象	赤穂商工会議所		
手段(方法)	中小企業者に対して実施する経営基盤強化や雇用安定、福利厚生充実を図る諸事業に対し補助を行う		
手法(該当番号を記入)	4 <input type="checkbox"/> 1 直営 <input type="checkbox"/> 2 一部委託 <input type="checkbox"/> 3 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 4 補助金 <input type="checkbox"/> 5 負担金		
意図(ねらい)	商工会議所が実施する事業の充実を推進することで中小企業の育成、地域経済の発展を図る。		
実施の必要性(該当番号を記入)	1 <input checked="" type="checkbox"/> 1 自治事務(任意的事業) <input type="checkbox"/> 2 自治事務(義務的事業) <input type="checkbox"/> 3 法定受託事務		
根拠法令・条例等	赤穂市補助金等交付規則		
その他実施の根拠			
始期・終期	13 年度 ~ 年度		
到達目標(根拠数式・数値又は文章)	補助金交付事務を適切に執行する		
単年度目標(達成状況)	30年度実績	補助金交付事務を適切に執行した	達成状況 100 %
	元年度実績	補助金交付事務を適切に執行した	達成状況 100 %
	2年度計画	補助金交付事務を適切に執行する	達成状況 - %
	2年度実績	補助金交付事務を適切に執行する	達成状況 100 %
	3年度計画	補助金交付事務を適切に執行する	達成状況 - %

2 事務事業の実施状況 (DO)						
細事業又は実施内容	目標値(年度)	30年度実績	元年度実績	2年度計画	2年度実績	3年度計画
補助金交付事務		1	1	1	1	1
商工会議所会員数		974	969	970	990	990
直接事業費	単位:円	30年度決算	元年度決算	2年度予算	2年度決算	3年度予算
中小企業総合支援事業		485,000	460,000	460,000	460,000	460,000
財源内訳	国県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	485,000	460,000	460,000	460,000	460,000
直接事業費総額		485,000	460,000	460,000	460,000	460,000
人件費:人日数	一般職員:人日数	12	12	12	12	12
	技能職員:人日数					
	臨時職員:人日数					
人件費総額		228,000	228,000	224,400	224,400	224,400
総事業費計		713,000	688,000	684,400	684,400	684,400
主な増減理由	元年度決算と2年度決算の比較	人件費単価の減による				
	2年度予算と3年度予算の比較	増減なし				

3 事務事業に関する自己診断 (CHECK)	
事務事業遂行上の課題	中小企業の相談事業等への参加率の向上、また、会員数の維持・増加に向けたメニューの充実を図る必要がある
市民のニーズ・満足度	
連携事業	
関連事業	
対象の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 受益者は妥当である <input type="checkbox"/> 2 受益者の範囲に検討余地あり
市の関与の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="2"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 市が直接実施するように法律、法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> 2 法律、法令等では義務づけられていない ⇒⇒ 下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> <input checked="" type="checkbox"/> 1 公共性が高く、行政以外ではサービスの提供が困難な事業 <input type="checkbox"/> 2 市民、他の自治体等でも条件整備によってサービスの提供が可能であるが、市が実施している事業 <input type="checkbox"/> 3 公共性が高いが、行政以外の団体等でサービス提供している事業 <input type="checkbox"/> 4 個人、家庭、地域、他の公共団体等で実施すべき事業、あるいはサービス提供が可能な事業 <input type="checkbox"/> 5 現在、市が実施しているが関与の必要性が低い事業、あるいは民間等でサービス提供している事業
手段の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 法的に行政職員が行うべき事業、又は行政の専門知識・技術が必要な事業 <input type="checkbox"/> 2 他に有効な手段を考える事業 ⇒⇒⇒⇒ 下の該当番号を記入 <input type="text"/> <input type="checkbox"/> 1 定型的、一般的、一時的な作業について、再任用、臨時職員等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 2 個人、家庭、地域、他の公共団体等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 3 民間委託等で対応しうる可能性がある
事業費の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他()
執行体制の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業に関する事業改善、作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 2 事業の進行管理について、確認やチェックを定期的に行っている <input type="checkbox"/> 3 現在の定数を減らした場合、大きな影響がある <input type="checkbox"/> 4 再任用、臨時職員で補完できる <input type="checkbox"/> 5 専門的な知識や技能を要する事業について、適切な研修を受ける時間が確保できている
有効性	目標達成度 <input type="text" value="100 %"/> 理由等所見欄
	上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度: 下の該当番号を記入 <input type="text" value="2"/> <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input checked="" type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()

4 事務事業の見直し提案 一次(担当者)評価 (CHECK・ACTION)	
事務事業実施による成果と課題	新分野への挑戦や、商品・サービスの差別化・高度化を図ろうとする中小企業に対してきめ細かく支援する
次年度予算への見直し方針	特になし
関連部課等との協議状況	
関連部課	
今後の方向性	右の該当を選択 <input type="text" value="5継続 (統合)"/> ▼ 中小企業・小規模事業者には依然として厳しい経済・雇用情勢に対応出来る内容となるよう、商工会議所と連携し支援を行っていく必要がある

5 二次評価 課長の評価 (CHECK・ACTION)	
上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度	下の該当番号を記入 <input type="text" value="2"/> <input type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input checked="" type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
	右の該当を選択 <input type="text" value="5継続 (統合)"/> ▼
今後の方向性	3年度の取り組み方針 中小企業経営から労務管理に至るまでの総合的な支援施策を実施していく
	4年度以降の展開方針 中小企業経営から労務管理に至るまでの総合的な支援施策を実施していく

部長の確認所見	中小企業を支援する取組を推進すること
---------	--------------------

令和2年度 事務事業評価シート（市民サービス系）

No. 205

1 事務事業の内容 (PLAN)		<input type="checkbox"/> 投資 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時 <input type="checkbox"/> 経常	
事務事業名称	中小企業経営安定資金融資事業	担当部署	産業振興部 商工課
総合計画上の位置付け	にぎわい-活力ある産業を形成する-地域産業を振興する-市内企業の育成と強化		
対象	中小企業経営安定資金融資により融資を受けた中小企業者		
手段(方法)	市融資制度を受ける際、兵庫県信用保証協会の保証が必要であるが、その保証料の1/2を助成する。 市制度融資で100万円以上の設備資金融資を受けた中小企業に対し、利子相当額の1/3を支給する(設備近代化資金については全額)		
手法(該当番号を記入)	4 <input type="checkbox"/> 1 直営 <input type="checkbox"/> 2 一部委託 <input type="checkbox"/> 3 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 4 補助金 <input type="checkbox"/> 5 負担金		
意図(ねらい)	市内中小企業者の資金調達を円滑にすることにより、健全な経営と発展を資する		
実施の必要性(該当番号を記入)	1 <input checked="" type="checkbox"/> 1 自治事務(任意的事業) <input type="checkbox"/> 2 自治事務(義務的事業) <input type="checkbox"/> 3 法定受託事務		
根拠法令・条例等	・赤穂市中小企業経営安定資金融資制度実施要綱・赤穂市中小企業経営安定資金融資制度実施要綱、赤穂市中小企業経営安定資金融資利子補給金交付要綱		
その他実施の根拠			
始期・終期	12、16年度～年度		
到達目標(根拠数式・数値又は文章)	助成金交付事務を適切に執行する		
単年度目標(達成状況)	30年度実績	助成金交付事務を適切に執行した	達成状況 100%
	元年度実績	助成金交付事務を適切に執行した	達成状況 100%
	2年度計画	助成金交付事務を適切に執行する	達成状況 -%
	2年度実績	助成金交付事務を適切に執行する	達成状況 100%
	3年度計画	助成金交付事務を適切に執行する	達成状況 -%

2 事務事業の実施状況 (DO)			
細事業又は実施内容	目標値(年度) 30年度実績 元年度実績 2年度計画 2年度実績 3年度計画		
保証料助成金交付事務数	12 12 12 12 12		
保証料助成件数	36 50 45 2 45		
利子補給助成金交付事務数	1 1 1 1 1		
利子補給助成件数	30 32 45 27 45		
直接事業費	単位:円 30年度決算 元年度決算 2年度予算 2年度決算 3年度予算		
保証料助成金額	2,114,680 3,922,525 3,600,000 126,559 3,600,000		
利子補給金助成金額	192,604 153,240 400,000 204,043 400,000		
財源内訳	国県支出金 地方債 その他 一般財源	2,307,284 4,075,765 4,000,000 330,602 4,000,000	
	直接事業費総額	2,307,284 4,075,765 4,000,000 330,602 4,000,000	
	人件費:人日数	一般職員:人日数 技能職員:人日数 臨時職員:人日数	14 24 24 19 7 10 36 36
		人件費総額	334,000 456,000 448,800 650,500 426,100
総事業費計		2,641,284 4,531,765 4,448,800 981,102 4,426,100	
主な増減理由	元年度決算と2年度決算の比較	人件費の増による(一部配置換え等)	
	2年度予算と3年度予算の比較	人件費の減による	

3 事務事業に関する自己診断(CHECK)	
事務事業遂行上の課題	制度融資と一体となった優遇措置として、今後も制度の維持に努める
市民のニーズ・満足度	
連携事業	中小企業経営安定資金融資預託金、中小企業経営安定資金利子補給
関連事業	
対象の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 受益者は妥当である <input type="checkbox"/> 2 受益者の範囲に検討余地あり
市の関与の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="2"/> 理由等所見欄
	<input type="checkbox"/> 1 市が直接実施するように法律、法令等で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 2 法律、法令等では義務づけられていない ⇒⇒ 下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> <input checked="" type="checkbox"/> 1 公共性が高く、行政以外ではサービスの提供が困難な事業 <input type="checkbox"/> 2 市民、他の自治体等でも条件整備によってサービスの提供が可能であるが、市が実施している事業 <input type="checkbox"/> 3 公共性が高いが、行政以外の団体等でサービス提供している事業 <input type="checkbox"/> 4 個人、家庭、地域、他の公共団体等で実施すべき事業、あるいはサービス提供が可能な事業 <input type="checkbox"/> 5 現在、市が実施しているが関与の必要性が低い事業、あるいは民間等でサービス提供している事業
手段の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 法的に行政職員が行うべき事業、又は行政の専門知識・技術が必要な事業 <input type="checkbox"/> 2 他に有効な手段を考へうる事業 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 下の該当番号を記入 <input type="text"/> <input type="checkbox"/> 1 定型的、一般的、一時的な作業について、再任用、臨時職員等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 2 個人、家庭、地域、他の公共団体等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 3 民間委託等で対応しうる可能性がある
事業費の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他()
執行体制の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業に関する事業改善、作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 2 事業の進行管理について、確認やチェックを定期的に行っている <input type="checkbox"/> 3 現在の定数を減らした場合、大きな影響がある <input type="checkbox"/> 4 再任用、臨時職員で補完できる <input type="checkbox"/> 5 専門的な知識や技能を要する事業について、適切な研修を受ける時間が確保できている
有効性	目標達成度 <input type="text" value="100"/> % 理由等所見欄
	上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度: 下の該当番号を記入 <input type="text" value="2"/> <input type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input checked="" type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
4 事務事業の見直し提案 一次(担当者)評価(CHECK・ACTION)	
事務事業実施による成果と課題	資金調達の円滑化を図ることができ、市内中小企業者の経営の安定化と発展に繋がっている
次年度予算への見直し方針	特になし
関連部課等との協議状況	
関連部課	
今後の方向性	右の該当を選択 <input type="text" value="2"/> 継続(現状維持) ▼ コロナ禍のため、制度融資の運用は低調となっているが、あくまで一時的なものであり、引き続き制度の適切な運用に努める。
5 二次評価 課長の評価(CHECK・ACTION)	
上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度	下の該当番号を記入 <input type="text" value="2"/> <input type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input checked="" type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
	右の該当を選択 <input type="text" value="2"/> 継続(現状維持) ▼
今後の方向性	3年度の取り組み方針 中小企業を取巻く経済状況等を的確に把握し、適正な補助に努める
	4年度以降の展開方針 中小企業を取巻く経済状況等を的確に把握し、適正な補助に努める
部長の確認所見	中小企業者の健全育成のため、事業継続が必要

令和2年度 事務事業評価シート（市民サービス系）

No. 206

1 事務事業の内容 (PLAN)		<input type="checkbox"/> 投資 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時 <input type="checkbox"/> 経常	
事務事業名称	企業立地促進事業	担当部署	産業振興部 商工課
総合計画上の位置付け	にぎわい-活力ある産業を形成する-地域産業を振興する-企業誘致活動の推進		
対象	一般企業／市内の産業団地等に工場を新設もしくは増設する一定の基準を満たした事業者		
手段(方法)	企業立地を促進するために、情報交換等を積極的に行う／工場設置奨励金・雇用奨励金の交付		
手法(該当番号を記入)	4 <input type="checkbox"/> 1 直営 <input type="checkbox"/> 2 一部委託 <input type="checkbox"/> 3 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 4 補助金 <input type="checkbox"/> 5 負担金		
意図(ねらい)	工場立地を促進するため奨励措置を講じ、産業の振興及び雇用機会の拡大を図る		
実施の必要性(該当番号を記入)	1 <input checked="" type="checkbox"/> 1 自治事務(任意的事業) <input type="checkbox"/> 2 自治事務(義務的事業) <input type="checkbox"/> 3 法定受託事務		
根拠法令・条例等	赤穂市工場立地促進条例		
その他実施の根拠			
始期・終期	63 年度 ~ 年度		
到達目標(根拠数式・数値又は文章)	市内企業の設備投資を促進するため、奨励金交付事務を適切に執行する		
単年度目標(達成状況)	30年度実績	奨励金交付事務を適切に執行した	達成状況 100 %
	元年度実績	奨励金交付事務を適切に執行した	達成状況 100 %
	2年度計画	奨励金交付事務を適切に執行する	達成状況 - %
	2年度実績		達成状況 %
	3年度計画		達成状況 - %

2 事務事業の実施状況 (DO)		目標値(年度)	30年度実績	元年度実績	2年度計画	2年度実績	3年度計画
細事業又は実施内容							
工場設置奨励金の交付			8	11	13		
雇用奨励金の交付			5	3	3		
直接事業費	単位:円	30年度決算	元年度決算	2年度予算	2年度決算	3年度予算	
雇用奨励金交付額		119,762,400	7,200,000	3,000,000	2,400,000	900,000	
工場設置奨励金交付額		7,500,000	144,946,700	128,806,500	128,794,400	129,583,000	
オフィス賃料補助金		0	0	0	0	0	
企業誘致促進		840,591	960,000	953,000	744,606	1,017,000	
財源内訳	国県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源		127,262,400	153,106,700	132,759,500	131,939,006	131,500,000
直接事業費総額		127,262,400	153,106,700	132,759,500	131,939,006	131,500,000	
人件費:人日数	一般職員:人日数		20	24	24	60	60
	技能職員:人日数						
	臨時職員:人日数		4				
人件費総額		407,200	456,000	448,800	1,122,000	1,122,000	
総事業費計		127,669,600	153,562,700	133,208,300	133,061,006	132,622,000	
主な増減理由	元年度決算と2年度決算の比較	対象内容の推移による増額					
	2年度予算と3年度予算の比較	対象内容の推移による増額					

3 事務事業に関する自己診断(CHECK)	
事務事業遂行上の課題	新規立地・増設企業の動向把握に努める必要がある
市民のニーズ・満足度	
連携事業	
関連事業	
対象の妥当性	下の該当番号を記入 1 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 受益者は妥当である <input type="checkbox"/> 2 受益者の範囲に検討余地あり
	下の該当番号を記入 2 理由等所見欄 <input type="checkbox"/> 1 市が直接実施するように法律、法令等で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 2 法律、法令等では義務づけられていない ⇒⇒ 下の該当番号を記入 1 <input checked="" type="checkbox"/> 1 公共性が高く、行政以外ではサービスの提供が困難な事業 <input type="checkbox"/> 2 市民、他の自治体等でも条件整備によってサービスの提供が可能であるが、市が実施している事業 <input type="checkbox"/> 3 公共性が高いが、行政以外の団体等でサービス提供している事業 <input type="checkbox"/> 4 個人、家庭、地域、他の公共団体等で実施すべき事業、あるいはサービス提供が可能な事業 <input type="checkbox"/> 5 現在、市が実施しているが関与の必要性が低い事業、あるいは民間等でサービス提供している事業
市の関与の妥当性	下の該当番号を記入 1 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 法的に行政職員が行うべき事業、又は行政の専門知識・技術が必要な事業 <input type="checkbox"/> 2 他に有効な手段を考へうる事業 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 下の該当番号を記入
	<input type="checkbox"/> 1 定型的、一般的、一時的な作業について、再任用、臨時職員等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 2 個人、家庭、地域、他の公共団体等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 3 民間委託等で対応しうる可能性がある
手段の妥当性	下の該当番号を記入 ※複数可 1 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他()
	下の該当番号を記入 ※複数可 1 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 事業に関する事業改善、作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 2 事業の進行管理について、確認やチェックを定期的に行っている <input type="checkbox"/> 3 現在の定数を減らした場合、大きな影響がある <input type="checkbox"/> 4 再任用、臨時職員で補完できる <input type="checkbox"/> 5 専門的な知識や技能を要する事業について、適切な研修を受ける時間が確保できている
事業費の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 1 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 事業に関する事業改善、作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 2 事業の進行管理について、確認やチェックを定期的に行っている <input type="checkbox"/> 3 現在の定数を減らした場合、大きな影響がある <input type="checkbox"/> 4 再任用、臨時職員で補完できる <input type="checkbox"/> 5 専門的な知識や技能を要する事業について、適切な研修を受ける時間が確保できている
	下の該当番号を記入 ※複数可 1 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 事業に関する事業改善、作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 2 事業の進行管理について、確認やチェックを定期的に行っている <input type="checkbox"/> 3 現在の定数を減らした場合、大きな影響がある <input type="checkbox"/> 4 再任用、臨時職員で補完できる <input type="checkbox"/> 5 専門的な知識や技能を要する事業について、適切な研修を受ける時間が確保できている
執行体制の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 1 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 事業に関する事業改善、作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 2 事業の進行管理について、確認やチェックを定期的に行っている <input type="checkbox"/> 3 現在の定数を減らした場合、大きな影響がある <input type="checkbox"/> 4 再任用、臨時職員で補完できる <input type="checkbox"/> 5 専門的な知識や技能を要する事業について、適切な研修を受ける時間が確保できている
	下の該当番号を記入 ※複数可 1 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 事業に関する事業改善、作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 2 事業の進行管理について、確認やチェックを定期的に行っている <input type="checkbox"/> 3 現在の定数を減らした場合、大きな影響がある <input type="checkbox"/> 4 再任用、臨時職員で補完できる <input type="checkbox"/> 5 専門的な知識や技能を要する事業について、適切な研修を受ける時間が確保できている
有効性	目標達成度 100 % 理由等所見欄 上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度: 下の該当番号を記入 1 <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
	下の該当番号を記入 ※複数可 1 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
4 事務事業の見直し提案 一次(担当者)評価 (CHECK・ACTION)	
事務事業実施による成果と課題	市内企業の動向の把握に努め、事業推進を図るとともに中小企業が活用しやすいよう制度の見直しを図った。
次年度予算への見直し方針	市内企業の設備投資動向の把握に努める。
関連部課等との協議状況	
関連部課	財政課
今後の方向性	右の該当を選択 2継続(現状維持) ▼
	引き続き企業との情報交換を密にし企業立地を促進するとともに、市内企業の設備投資動向の把握に努める。
5 二次評価 課長の評価 (CHECK・ACTION)	
上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度	下の該当番号を記入 1 <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
	下の該当番号を記入 1 <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
今後の方向性	右の該当を選択 2継続(現状維持) ▼
	3年度の取り組み方針 市内企業の動向の把握に努め、事業推進を図る
	4年度以降の展開方針 市内企業の動向の把握に努め、事業推進を図る
部長の確認所見	企業との情報交換を密にし、市内企業の留置と新規企業の誘致に努める。

令和2年度 事務事業評価シート（市民サービス系）

No. 207

1 事務事業の内容 (PLAN)		<input type="checkbox"/> 投資 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時 <input type="checkbox"/> 経常					
事務事業名称	中心市街地にぎわいづくり事業		担当部署	産業振興部 商工課			
総合計画上の位置付け	にぎわい-活力ある産業を形成する-商業の振興を図る-にぎわいづくりによる商業の振興					▼	
対象	赤穂商工会議所、商業団体等						
手段(方法)	商工会議所、商業団体等が行う中心市街地のにぎわいづくり事業に対し補助金を交付する						
手法(該当番号を記入)	4	<input type="checkbox"/> 1 直営 <input type="checkbox"/> 2 一部委託 <input type="checkbox"/> 3 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 4 補助金 <input type="checkbox"/> 5 負担金					
意図(ねらい)	中心市街地の「にぎわい」創出事業を支援し、交流人口の増加や市民交流を促進し、商業の振興と地域活性化を図る						
実施の必要性(該当番号を記入)	1	<input checked="" type="checkbox"/> 1 自治事務(任意的事業) <input type="checkbox"/> 2 自治事務(義務的事業) <input type="checkbox"/> 3 法定受託事務					
根拠法令・条例等	赤穂市補助金等交付規則						
その他実施の根拠							
始期・終期	22	年度	～	年度			
到達目標(根拠数式・数値又は文章)	補助金交付事務を適切に執行する						
単年度目標(達成状況)	30年度実績	補助金交付事務を適切に執行した				達成状況	100 %
	元年度実績	補助金交付事務を適切に執行した				達成状況	100 %
	2年度計画	補助金交付事務を適切に執行する				達成状況	- %
	2年度実績	補助金交付事務を適切に執行する				達成状況	100 %
	3年度計画	補助金交付事務を適切に執行する				達成状況	- %

2 事務事業の実施状況 (DO)						
細事業又は実施内容	目標値(年度)	30年度実績	元年度実績	2年度計画	2年度実績	3年度計画
物産館補助金交付事務		4	4	4	4	-
商工会議所事業の実施		2	1	1	1	-
にぎわいづくり助成事業		4	3	4	0	-
空き店舗等活用事業					2	-
直接事業費	単位:円	30年度決算	元年度決算	2年度予算	2年度決算	3年度予算
補助金額		5,511,480	4,845,000	5,200,000	3,462,303	-
財源内訳	国県支出金					
	地方債					
	その他	2,200,000				
	一般財源	3,311,480	4,845,000	5,200,000	3,462,303	0
直接事業費 総額		5,511,480	4,845,000	5,200,000	3,462,303	0
人件費:人日数	一般職員:人日数	20	24	24	14	
	技能職員:人日数					
	臨時職員:人日数	4				
人件費 総額		407,200	456,000	448,800	261,800	0
総事業費 計		5,918,680	5,301,000	5,648,800	3,724,103	0
主な増減理由	元年度決算と2年度決算の比較	新型コロナウイルスによる事業中止による				
	2年度予算と3年度予算の比較	情報物産館補助終了に伴う事業統合による				

3 事務事業に関する自己診断(CHECK)	
事務事業遂行上の課題	コロナの影響も大きいなか、継続的に商店街へ足を運んでもらえるような取り組みを検討していく
市民のニーズ・満足度	
連携事業	
関連事業	
対象の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 受益者は妥当である <input type="checkbox"/> 2 受益者の範囲に検討余地あり
市の関与の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="2"/> 理由等所見欄
	<input type="checkbox"/> 1 市が直接実施するように法律、法令等で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 2 法律、法令等では義務づけられていない ⇒⇒ 下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> <input checked="" type="checkbox"/> 1 公共性が高く、行政以外ではサービスの提供が困難な事業 <input type="checkbox"/> 2 市民、他の自治体等でも条件整備によってサービスの提供が可能であるが、市が実施している事業 <input type="checkbox"/> 3 公共性が高いが、行政以外の団体等でサービス提供している事業 <input type="checkbox"/> 4 個人、家庭、地域、他の公共団体等で実施すべき事業、あるいはサービス提供が可能な事業 <input type="checkbox"/> 5 現在、市が実施しているが関与の必要性が低い事業、あるいは民間等でサービス提供している事業
手段の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 法的に行政職員が行うべき事業、又は行政の専門知識・技術が必要な事業 <input type="checkbox"/> 2 他に有効な手段を考へうる事業 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 下の該当番号を記入 <input type="text"/> <input type="checkbox"/> 1 定型的、一般的、一時的な作業について、再任用、臨時職員等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 2 個人、家庭、地域、他の公共団体等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 3 民間委託等で対応しうる可能性がある
事業費の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他()
執行体制の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業に関する事業改善、作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 2 事業の進行管理について、確認やチェックを定期的に行っている <input type="checkbox"/> 3 現在の定数を減らした場合、大きな影響がある <input type="checkbox"/> 4 再任用、臨時職員で補完できる <input type="checkbox"/> 5 専門的な知識や技能を要する事業について、適切な研修を受ける時間が確保できている
有効性	目標達成度 <input type="text" value="100"/> % 理由等所見欄
	上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度: 下の該当番号を記入 <input type="text" value="2"/> <input type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input checked="" type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
4 事務事業の見直し提案 一次(担当者)評価(CHECK・ACTION)	
事務事業実施による成果と課題	コロナの影響が大きいなか、商店街の活性化に繋げる工夫が必要である
次年度予算への見直し方針	特になし
関連部課等との協議状況	
関連部課	
今後の方向性	右の該当を選択 <input type="text" value="2"/> 継続(現状維持) ▼
	商工会議所、商業団体等との連携を密にし、中心市街地の活性化につなげていく
5 二次評価 課長の評価(CHECK・ACTION)	
上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度	下の該当番号を記入 <input type="text" value="2"/> <input type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input checked="" type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
	右の該当を選択 <input type="text" value="5"/> 継続(統合) ▼
今後の方向性	3年度の取り組み方針 交流人口の増加や市民交流を促進し、商工業の振興と地域活性化を図る
	4年度以降の展開方針 交流人口の増加や市民交流を促進し、商工業の振興と地域活性化を図る
部長の確認所見	事業を継続し、交流人口の増加を図ること

令和2年度 事務事業評価シート（市民サービス系）

No. 208

1 事務事業の内容 (PLAN)		<input type="checkbox"/> 投資 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時 <input type="checkbox"/> 経常	
事務事業名称	しおブランド化推進事業	担当部署	産業振興部 商工課
総合計画上の位置付け	にぎわい-活力ある産業を形成する-地域産業を振興する-市内企業の育成と強化		
対象	市内製塩事業者 外		
手段(方法)	「赤穂しお」の新たなブランド化を推進し、商品化を図る		
手法(該当番号を記入)	<input type="checkbox"/> 1 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 2 一部委託 <input type="checkbox"/> 3 全部委託 <input type="checkbox"/> 4 補助金 <input type="checkbox"/> 5 負担金		
意図(ねらい)	市場に流通していない「塩の国」で生産される「かん水」を活用し、新たな塩の開発、商品化を目指す		
実施の必要性(該当番号を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 1 自治事務(任意的事業) <input type="checkbox"/> 2 自治事務(義務的事业) <input type="checkbox"/> 3 法定受託事務		
根拠法令・条例等			
その他実施の根拠			
始期・終期	29 年度 ~ 年度		
到達目標(根拠数式・数値又は文章)	赤穂しおを活用した新商品の開発や赤穂しおの知名度向上を図る。		
単年度目標(達成状況)	30年度実績	新製品の開発	達成状況 100 %
	元年度実績	赤穂塩のプロモーション	達成状況 100 %
	2年度計画	赤穂かん水塩の商品化	達成状況 - %
	2年度実績	赤穂かん水塩の商品化	達成状況 100 %
	3年度計画	-	達成状況 - %

2 事務事業の実施状況 (DO)						
細事業又は実施内容	目標値(年度)	30年度実績	元年度実績	2年度計画	2年度実績	3年度計画
体験教室		0	1	0	0	-
展示、PR		2	1	0	0	-
リーフレット作成		1	1	0	0	-
塩の商品化		0	0	1	1	-
直接事業費	単位:円	30年度決算	元年度決算	2年度予算	2年度決算	3年度予算
事業費		5,643,516	2,838,309	610,000	151,986	-
財源内訳	国県支出金	2,705,307	1,355,000			-
	地方債					
	その他	2,200,000				
	一般財源	738,209	1,483,309	610,000	151,986	
直接事業費総額		5,643,516	2,838,309	610,000	151,986	0
人件費:人日数	一般職員:人日数	48	48	48	12	
	技能職員:人日数					
	臨時職員:人日数				12	
人件費総額		912,000	912,000	897,600	322,800	0
総事業費計		6,555,516	3,750,309	1,507,600	474,786	0
主な増減理由	元年度決算と2年度決算の比較	新たな製品の開発が終わるなど、事業内容の変更による減額				
	2年度予算と3年度予算の比較	事業統合による減額				

3 事務事業に関する自己診断(CHECK)	
事務事業遂行上の課題	市内製塩事業者との連携協力体制の確立
市民のニーズ・満足度	
連携事業	
関連事業	
対象の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 受益者は妥当である <input type="checkbox"/> 2 受益者の範囲に検討余地あり
市の関与の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text"/> 理由等所見欄
	<input type="checkbox"/> 1 市が直接実施するように法律、法令等で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 2 法律、法令等では義務づけられていない ⇒⇒ 下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> <input checked="" type="checkbox"/> 1 公共性が高く、行政以外ではサービスの提供が困難な事業 <input type="checkbox"/> 2 市民、他の自治体等でも条件整備によってサービスの提供が可能であるが、市が実施している事業 <input type="checkbox"/> 3 公共性が高いが、行政以外の団体等でサービス提供している事業 <input type="checkbox"/> 4 個人、家庭、地域、他の公共団体等で実施すべき事業、あるいはサービス提供が可能な事業 <input type="checkbox"/> 5 現在、市が実施しているが関与の必要性が低い事業、あるいは民間等でサービス提供している事業
手段の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="2"/> 理由等所見欄
	<input type="checkbox"/> 1 法的に行政職員が行うべき事業、又は行政の専門知識・技術が必要な事業 <input checked="" type="checkbox"/> 2 他に有効な手段を考へうる事業 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 下の該当番号を記入 <input type="text" value="3"/> <input type="checkbox"/> 1 定型的、一般的、一時的な作業について、再任用、臨時職員等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 2 個人、家庭、地域、他の公共団体等で対応しうる可能性がある <input checked="" type="checkbox"/> 3 民間委託等で対応しうる可能性がある
事業費の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 <input type="text" value="2"/> 理由等所見欄
	<input type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input checked="" type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他()
執行体制の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業に関する事業改善、作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 2 事業の進行管理について、確認やチェックを定期的に行っている <input type="checkbox"/> 3 現在の定数を減らした場合、大きな影響がある <input type="checkbox"/> 4 再任用、臨時職員で補完できる <input type="checkbox"/> 5 専門的な知識や技能を要する事業について、適切な研修を受ける時間が確保できている
有効性	目標達成度 <input type="text" value="100"/> % 理由等所見欄
	上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度: 下の該当番号を記入 <input type="text" value="3"/> <input type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input checked="" type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
4 事務事業の見直し提案 一次(担当者)評価(CHECK・ACTION)	
事務事業実施による成果と課題	「赤穂しお」と他業者の塩との差別化が課題である。
次年度予算への見直し方針	プロモーション経費の予算措置が必要である。
関連部課等との協議状況	
関連部課	教員委員会生涯学習課
今後の方向性	右の該当を選択 <input type="text" value="5"/> 継続(統合) ▼
	商品化された赤穂かん水塩の普及啓発を図る。
5 二次評価 課長の評価(CHECK・ACTION)	
上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度	下の該当番号を記入 <input type="text"/> 理由等所見欄
	<input type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input checked="" type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
今後の方向性	右の該当を選択 <input type="text" value="5"/> 継続(統合) ▼
	3年度の取り組み方針 日本遺産認定を契機とした赤穂かん水塩の商品化を支援する 4年度以降の展開方針 商品化された赤穂かん水塩の販売促進を支援する
部長の確認所見	日本遺産認定を契機とした赤穂かん水塩の普及啓発を図るとともに赤穂の塩のPRIにも努めること